

令和8年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	インバウンド観光客の急増への対応について			近年インバウンド観光客の地方の小都市への感心が高まっており、本市においてもインバウンド観光客が急増している。中でも韓国観光客においては、韓国旅行サイトによると昨年の38倍に急増しているという。この状況に素早く対応し、今後につなげていくことが喫緊の課題であると感じる。この課題に対しての当局の考えを伺う。 (1) インバウンド観光客数の推移について。 (2) 急増しているインバウンド観光客の受入れの状況について。 (3) 今後のインバウンド観光客数の見込み及び目標数について。 (4) 見込み及び目標数をクリアするための環境整備について。		市長 副市長 教育長 関係部長
2	義務教育におけるA Iの活用について			本年4月1日に「富士宮市教育委員会生成A I利用ガイドライン」が策定された。このガイドラインにおいてはA Iの安全かつ効率的な活用とリスク回避の両面から明確な方針が示されている。今後のA I導入・活用についての考えを伺う。 (1) 策定されたガイドラインの概略と現在のA I活用状況について。 (2) A I活用に期待する効果について。 (3) A I活用によるリスク及びそのための対策について。 (4) A I活用に当たり専門的な知識及びリスク管理のできる教員又は職員について。		市長 副市長 教育長 関係部長
3	富士山での遭難事故抑止について			本年は開山期間中の救助要請が昨年に比べ急増した。先日閉山されたが、今後閉山期間中においても例年のように遭難者及び救助要請が発生することが危惧される。遭難者及び救助要請を減らすために当市にできることは何か伺う。 (1) 近年の登山者数及び救助者数の推移について。 (2) 遭難者救助に当たっての防災ヘリ、静岡県警及び富士宮市消防の山岳救助隊の出動状況について。 (3) 救助者を減らすための方策について。 (4) 閉山期間中の登山規制について。		市長 副市長 教育長 関係部長